

# 第1 食料、農業及び農村に関する 施策についての基本的な方針

農業・農村は、食料を安定的に供給する重要な機能に加え、水源のかん養や美しい景観・伝統文化の継承、国土保全への貢献しています。

こうした多面的機能の恩恵は、都市部に住む人々を含め、国民皆さんが受けることができます。



こうした機能や価値は、お金で買うことのできないものであり、農業・農村の持つ様々な価値を共有し、それを支えていくことが必要です。

- 国家の最も基本的な責務として食料の安定供給を確保
- 食料・農業・農村政策を日本の国家戦略として位置付け
- 「国民全体で農業・農村を支える社会の創造」を明記

## 食料、農業及び農村をめぐる状況を踏まえた 政策的な対応方向

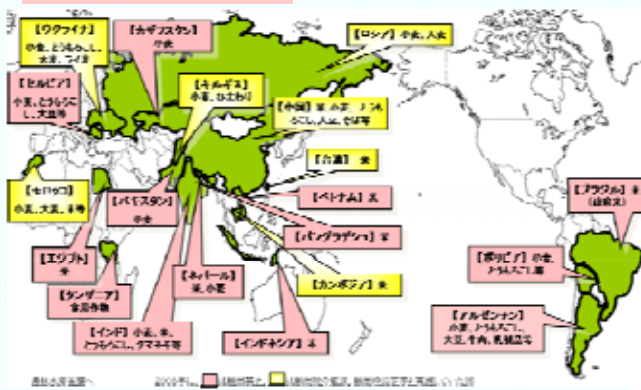
### 新たな施策の基本的な方針

- 再生産可能な経営を確保
- 多様な用途・需要に対応して生産拡大と付加価値を高める取組を後押し
- 意欲ある多様な農業者を育成・確保
- 優良農地の確保と有効利用を実現
- 活力ある農山漁村の再生に向けた施策の総合化
- 安心を実感できる食生活の実現

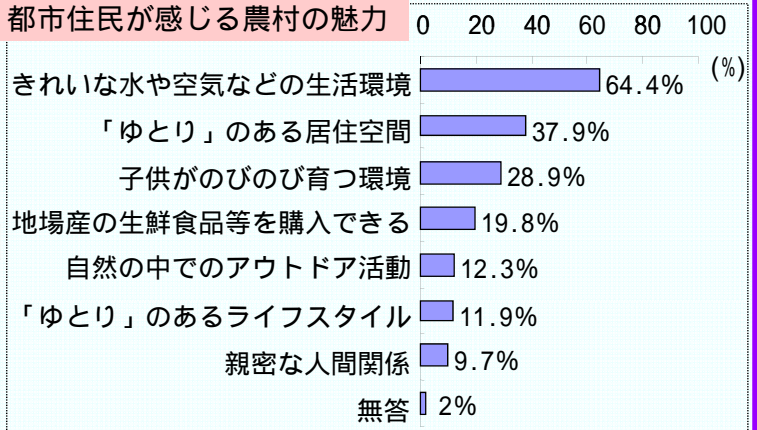
# 新たな潮流に対応した可能性の追求

- ◆ 世界経済における新興国の台頭
- ◆ 気候変動をはじめとする地球環境問題の進行
- ◆ 国境を越えた移動の拡大と様々な不安要因の発生
- ◆ 我が国経済の回復に向けた模索
- ◆ 人々の価値観・ライフスタイルの多様化

## 農産物の輸出規制



## 都市住民が感じる農村の魅力



# 政策改革の視点

- 効果的・効率的で分かりやすい施策の展開
- 施策対象者が主体性と創意工夫を発揮する施策の展開
- 国民の理解と具体的行動を促す施策の展開

# 新たな理念に基づく 食料・農業・農村政策の一体的展開

- 戸別所得補償制度の導入
- 「品質」、「安全・安心」といった消費者ニーズに適った生産体制への転換
- 6次産業化による活力ある農山漁村の再生